

# 平成 30 年度

## ソフィアだより 7 月号

おはじき

金子みすず

そらいっぱいのお星さま  
きれいなきれいなおはじきよ  
ぱらり、とおはじき、撒きました。  
どれから、取ってゆきましょか。  
あの星、はじいて こう当てて  
あれから あの星 こう取って  
取っても、取っても、なくならぬ。  
空のおはじき お星さま

七夕の行事もあり、星空を見上げて親子でお話する光景がみられる 7 月。

『二度童』にどわらし という言葉があります。

幼児期にあらわれるものが、老人期にも表れることをあらわす言葉です。

地震がぐらぐらときて、「あー、こわかった」と無意識に言葉にしたり、誰も聞いてないのに「あー、おいし！」と感想を言ったり、幼児期のこどものように 1 人ぶつぶつと話すことも二度童のふるまいです。老人期ではなくても二度童の症状をわたしたちは、日常出しています。押しピンを踏みそうになり、さっと足をあげる動作も、あかちゃんもっている原始反射のなごりともいえるそうです。

そう考えると、大人になろうとも人間はこどものもつ核をなくすことなく心身ともに成長していくのです。

お笑い芸人のノンスタイル井上さんの、twitter の返信が、ポジティブすぎる。と評判です。NHK の番組で、すぐにきれてしまい、友達ができない。と悩んでいる小学 2 年生の子どもに、「どんな言葉でも肯定的にとらえてみようよ」とアドバイスしていました。

「反省せーへんな！」と言われたら「くよくよしない性格なんだ」ととらえ、「ほんま頑固なやつだなあ」といわれたら、「しんが強いんだ」ととらえ、「おとなしいなあ」と言われたら、「人の話をよく聞いているんだ」と考えてみる。自分の短所をよりよく長所に変えながら、自尊心をあげることが大事だと思う。とも話していました。その悩んでいた小学生は、なんか、言葉を変えたら笑ってきたわ。と番組の最後に話していました。夏の夜空を見上げて、ロマンをもちながら、子どもの心を忘れずにポジティブトークン意識してみませんか。

ソフィア東生駒こども園 園長 中畑直実